



雪椿



只見高校学校長より



只見高等学校勤務も2年目になりました。常日頃の本校の教育へのご理解とご支援を感謝申し上げます。

30年度は、生徒がそれぞれの目標をもって学校生活を送り、多くの成果を残してくれました。野球部の夏の大会3回戦進出、各運動部の県大会出場、文化部の町内行事参加など本校の目指す『小さな学校の大きな可能性』への挑戦の見事な体現でした。

卒業生の進路面では、進路決定率100%、就職面で町内企業を含む地元企業3名、只見町役場1名を含め9名、進学面では専門学校14名、私立大学6名、短期大学1名、国公立大学4名という結果を残してくれました。生徒たちと保護者の方々、地域の方々、教職員が時に悩みながらも協力して作り上げた成果であり、深く感謝申し上げます。

さて、「平成」から新たな元号「令和」へ変わる年、12名の山村教育留学生を含めた34名の新入生を迎え、本校は116名でスタートしました。今年は、2月に県教育委員会から福島県高等学校改革案が発表され、本校は2020年度より一学年1学級、定員40名（現在は一学年2学級定員70名）への小規模化存続という新たな進む道が示されました。少子化など国全体が直面する課題の波は、本校にも着実に押し寄せてきています。

加えて、今年度より、高校入試もⅠ期・Ⅱ期選抜が同時に実施される「前期選抜」と今までのⅢ期選抜にあたる「後期選抜」による新しい入試制度での生徒募集が実施されます。

県内、国内に今、大きな変革の時が訪れています。

こうした著しい変化の中で、只見高校は地域の高校として、たとえ小規模化しても進路指導の充実と、心身ともに健康な人材の育成を掲げ「大きな可能性への挑戦」を目指してまいります。学校と家庭、地域が連携する「チーム只見」を今年度もよろしくお願いいたします。

平成31年度入学式

4月8日（月）、平成31年度入学式が挙行されました。今年度は34名の新入生を迎えました。式には只見町長をはじめ、多くのご来賓の方々にご出席をいただき、新入生の新たな出発を祝っていただきました。また、2、3年生も入学式に出席し、校歌を披露するなど、新しい仲間を迎え入れました。

「誓いの言葉」より抜粋 新入生代表 酒井 香苗

新しい校舎と制服、そして友達という今までと違う環境に新鮮さを感じながら、私たちはこれから始まる高校生活への期待や希望に胸を膨らませております。しかし、「中学校」という場所とは違う環境にとまどい、多くの不安や困難に陥ることもあると思います。そんな時は、友達や先輩方、そして先生方の力もお借りしながら乗り越えていきます。





対面式・部活動紹介



4月9日（火）に、対面式・部活動紹介が行われました。学校長の話に続き、会長の伊藤彩加さんを中心とした生徒会役員が紹介された後、各部活動・愛好会のメンバーが工夫を凝らした発表を披露しました。

紹介の後は、新入生一人ひとりが先輩たちに向けて自己紹介をしました。初めこそ緊張した面持ちで入場した新入生も、先輩たちの発表を見て、今後の学校生活への期待を膨らませているようでした。新入生代表の五十嵐せなさんからは、勉強と部活を両立させていきたいという高校生活の意気込みを聞くことができました。



新入生オリエンテーション

4月10日（水）11日（木）には、新入生オリエンテーションが行われました。

1日目は、教務主任・進路指導主事・生徒指導主事から、高校生としての心構えや学校生活での決まりなどの説明がありました。新入生は、それぞれメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。2クラス合同のアイスブレイク活動では、和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深める様子が見られました。

2日目は、(株)ライセンスアカデミーから講師を迎えて進路ガイダンスを行いました。パズルワークを通して職業に関する知識を深め、3年後の進路について考えるきっかけとなりました。

新入生の皆さんが、これから共に歩んでいく仲間たちと実り多い学校生活を送れますように。



〈オリエンテーションの様子〉





離任される先生方より

金子 敦志 先生 橘高校

4月より福島県立橘高校へ異動いたしました。只見町に異動が決まった時は、豪雪地帯であると聞いていたため、生活に不安もありましたが、只見町の素晴らしい自然の中で過ごしていく中でその不安も消えていきました。春には、雪の中に満開の桜が見られ、初夏にはブナの新緑が美しく、秋にはすべてが黄色に染まる紅葉を見ることができました。また、只見町に特徴的な岩肌が見られる急峻な地形は日本にはここにしかないような景色を作り出しており、その迫力のある景色が思い出されます。

只見高校は、小さな学校ですが、授業や様々な行事を行う中で生徒たちとふれあい、ずっと心に残る大切な思い出を作ることができました。町に住む方々とは直接ふれあうことは少なかったのですが、只見町駅伝競走大会に教員チームの一員として参加させていただいた際には、沿道の方々から暖かい声援をいただきました。只見町での4年間は、本当に素晴らしいものであり、大切な思い出であるとともにこれからの教員生活における大きな経験となりました。本当にありがとうございました。

石山 智恵 先生 安積高校

只見高校を去る時を迎え、非常に寂しく思っております。只見高校ではさまざまなことに挑戦することができました。これも只見高校を温かく見守ってくださった町の方々のおかげと思っております。また、只見の自然の美しさも忘れることができません。冬を乗り越え、生命力に満ち溢れた春、まぶしいほどの緑に覆われた夏、美しい紅葉の秋、厳しくも美しい雪を見た冬。只見高校で過ごした3年間を忘れずに、次の学校でもがんばりたいと思います。本当にありがとうございました。

藤井智之先生 光南高校

只見高校の先生方、生徒のみなさん本当にお世話になりました。3年前に赴任したときは不安しかありませんでしたが、同僚の先生方や只見高校生、地域の方々のおかげで3年間楽しく働かせていただくことができました。最初の頃は、生活する上で不便を感じることはありましたが、今はそう思いません。慣れなのでしょう。本当に只見高校で働くことができて良かったと思います。さて、私といえば体育とバレーボールです。授業では生徒と一緒に楽しくできたことが思い出です。今後も体育人として動けるまで動き続けたいと思います。部活動では少人数でありながらも本当に生徒たちは頑張ってくれました。いろんな事がありましたが、生徒と一緒に乗り越えることができたと思っています。今後は、少人数に甘えることなく、様々な困難にぶつかりながらもそれを乗り越え成長して欲しいと思います。県大会やビーチバレーの大会で会えることを楽しみにしています。ここで学んだことを糧に、次の学校でも頑張りたいと思います。陰ながら応援しています。3年間ありがとうございました。

関 雄太先生 相馬高校

4年間、本当にお世話になりました。初任者として右も左もわからなかった私ですが、この4年間走り続けられたのも、素直な生徒の皆さん、優しい同僚の先生方、そして温かい町民の皆様に支えられていたからだと思います。本当にありがとうございました。町中をランニングしていると、道行く方々が「野球部かい？君はどこのポジションなの？」と優しく声をかけてくれる。そんな空気感が本当に大好きです。

只見を離れることになり寂しい気持ちでいっぱいですが、自分のやるべきことを見据え、突き進んでいきたいと思っています。相馬でも今まで以上に走って投げて食べて元気にやっていきます。只見高校生の皆さんも、負けずに頑張ってください。また会いましょう！

伊藤 健志先生 南会津高校

4年間お世話になりました。只見は母のふるさとであるため、「地域に貢献したい」という気持ちと「母や親戚に恩返しをしたい」という気持ちで勤めてきました。ここでの日々は、地域の方からの温かい気持ちと素直な生徒たちに接することで、とても楽しく充実したものになりました。本当にありがとうございました。

さて、最後に生徒の皆さんに「自他ともに尊重する心」という言葉を贈ります。教育ではよく用いられる言葉です。他人を思いやる気持ちは大切ですが、それと同じくらい自分を思いやることも大切です。自分も他人も思いやるという意識を成長して欲しいと思います。

着任者よりごあいさつ

平成31年度は、4名の先生方が着任されました。これまで積み上げてきたものに加え新しい風を吹き込ませながら、教職員一同力を合わせ、只見高等学校及び只見町を盛り上げていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしします。

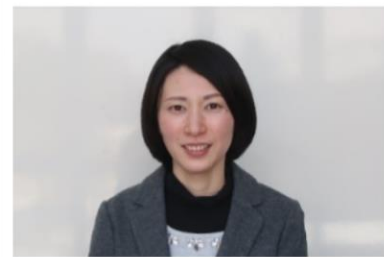
○渡部 壮士 (保健体育科)

4月より勤務いたします渡部壮士と申します。今までの環境は君たちを支えたいと思ふ本気の気持ち(保護者・地域)で作られてきました。しかし、これからは自分が目指す目標に向かい、社会を本気で支えていく人材にならなければいけません。「君たち自身の本気力で、周りの環境を変えて行く。」そんな逞しく人間味のある人になる為の支援をしていきます。正直、私はどの学校へ行っても、厳しいため嫌われ者です(笑)。しかし、私の経験上、ホントの厳しさを投げかけてくれる人間ほど、人の優しさに溢れる人間味のある人たちが多かったような気がします。今後ともよろしくお願いいたします。



○大竹亜希子 (理科)

初めまして。大竹亜希子です。担当教科は理科です。この度、3学年の副担任とバレーボール部の副顧問になりました。前任校は、いわき市にある遠野高校というところでしたが、私は会津出身なので、只見の雪を見て、その量に驚きつつも、会津に帰ってきたんだなぁと実感しています。まだ、赴任して間もないですが、少しでも早く、只見高校の皆さんと楽しく生活ができるように頑張りたいと思ひますので、よろしくお願いしします。



○志村 龍也 (数学科)

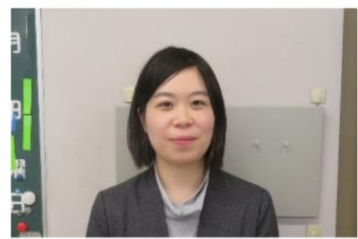
いわき翠の杜高校から赴任して参りました志村と申します。

会津大学に在学中、「会津は雪の量が少ないよ？ 只見に比べたら…」と言われたことを転勤してから思い出しました。4月でも雪が降っている状況に圧倒されながらのスタートになりました…。これから皆さんと一緒に様々なことを学び、互いに成長できる関係になればと思ひます。よろしくお願いしします。



○中村 諠華 (国語科)

初めまして。この度相馬東高等学校より転任して参りました、中村諠華(ことか)と申します。めったに雪の降らない相馬市で5年過ごしておりましたので、去る4月2日の天候には大変驚きました！ 教科は国語、部活動はバスケットボール部の担当です。1年2組の担任もさせていただき運びとなり、新入生の皆さんと同様に、緊張と興奮でドキドキしております！ これから出会える皆さんとのお縁を大切に、今一度初心に戻って頑張って参りますので、どうかあたたかく見守っていただけると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



5月の行事予定

- 8日(水) PTA・雪椿総会報告会
- 11日(金) PTA専門委員会
- 19日(土) 学校開放
- 22日(火) ～25日(金) 1学期中間考査
- 29日(火) 第1回避難訓練
- 31日(木) 校内駅伝大会

